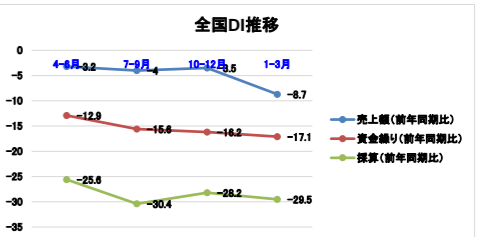
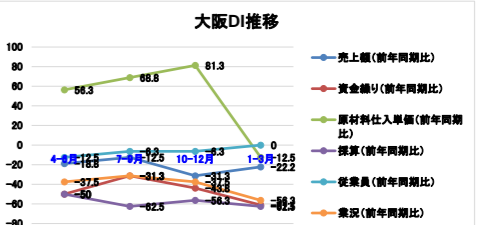
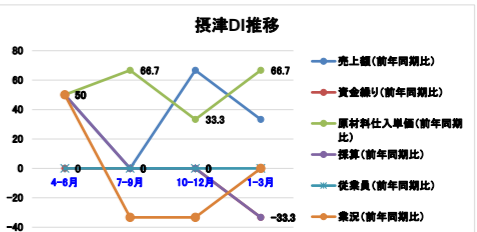


製造業

【表況】

Table with columns for '摂津' and '大阪' regions, and rows for various financial and production metrics such as '売上額', '売上原価', '営業利益', etc., with quarterly and monthly data points.



【設備投資】

Table showing equipment investment statistics for '摂津' and '大阪' regions, including counts for planned, implemented, and non-implemented investments.

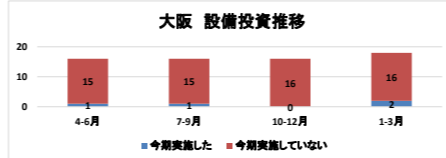
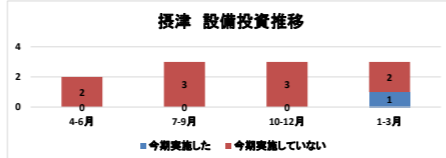


Table showing the percentage of equipment investment implemented for '摂津市', '大阪府', and '全国' from April to March.

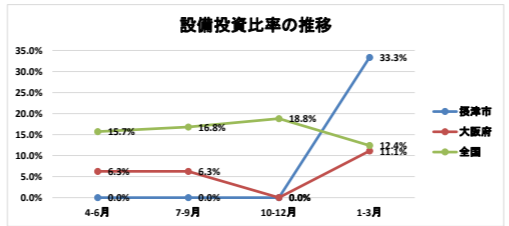


Table showing the percentage of equipment investment planned for '摂津市', '大阪府', and '全国' from April to March.

製造業

【経営課題】

Table with 17 rows and 16 columns showing survey results for manufacturing companies in Hyogo Prefecture. Columns represent time periods (4-6 months, 7-9 months, 10-12 months, 1-3 months) and ranks (1st, 2nd, 3rd, Total).

Table with 17 rows and 16 columns showing survey results for manufacturing companies in Osaka Prefecture. Columns represent time periods (4-6 months, 7-9 months, 10-12 months, 1-3 months) and ranks (1st, 2nd, 3rd, Total).

Table showing the percentage of respondents for 17 issues across Hyogo Prefecture, Osaka Prefecture, and the National level. Columns represent time periods and ranks.

Table showing the percentage of respondents for 17 issues across Hyogo Prefecture, Osaka Prefecture, and the National level. Columns represent time periods and ranks.

【業況判断の背景】

<兵庫>

まだまだ先が読めない状況。10月に単価400万円の仕事があったため売上が上がった。仕事量が増えたわけではない。しかし見積依頼は増えてきた。背景に有るのは円安の影響ですすべての材料に値上がりが見られます。が、即売りに反映しにくい所が有り困る所です。パートが短期でも働いてもらえる従業員の確保。今後のことを考えて。健康テーマの新プリント部門の拡大。原材料価格の上昇により先のこの見積もり額を確定しにくくなりました。

<大阪>

昨年度の鋼材の値上がり理由とした価格転嫁を4月に実施したが、今年に入ってから再度の鋼材値上げだけでなく、電気、外注加工、副資材などが大幅値上げとなり、また採算が悪化している。業界内全体に言えることであるが、各種電気部品の流通が滞っており、製品の歩留まりにおける非効率な状況が常態化している。一方で原材料価格の高騰のより利益率の低下を招いている。原材料・電気代・外注費など、あらゆる経費が値上がり続けており、これまでの価格転嫁では間に合わず、経営を圧迫している。受注も確実に少なくなっており、大変な不景気になるのではないかと、強く心配している。昨秋より材料の単価が軒並み上昇するとともに調達したい職記製品などは逆に不足しており、非効率な生産現場となっていることが非常に厳しい。経費の増加及び、加工単価の上昇。昨年は9月から売上が減らしている。現在の受注状況から考えると当面は前年マイナスが続くと思われる。原材料や資材、電気代や加工費の高騰を考えると、厳しい局面を迎えたと心配しています。人員費が上がり、原材料費の高騰を受け利益を圧迫する状況が現れ始めているが、人材不足から引合いはある程度あるものの人材の確保が解決できない。売上は低調だがし動きが出てきた。増加が続いて欲しいが、まだ不安だ。手元資金は十分だが、鋼材価格の上昇は痛く、また外注先の一部の廃業もあり、明るい先行きを見出さなければと思うが、心情的にしんどい。

